



ふれあいの お人ページ

ちょっとおじゃまします

〈取材〉市民レポーター・安田清



こいし歯科の待合室では、約5年前から落語会が開かれています。今回はその落語会におじゃまし、お話を聞かせていただきました。

小石先生は、「歯医者」は痛くなってから行く場所と思われている。だから痛くなる前に行く定期検診や予防歯科の重要さを伝えたい」との思いをお持ちでした。楽しく歯や健康の話をして笑いながら聞いてもらって、健康になれる方法を考えておられるとき、池田のお店が落語のネタを使った「おたなKAWAI」の取り組みが始まります。落語好きだった小石先生もこの企画に賛同し、歯磨きの場面が出てくる落語の「手水廻し」から「手水寄席」と名付けた寄席を2009年5月にスタートされました。

待合室に会議机を並べ、毛せんで覆った高座を作り、近所のお寺からいすを借りてきて、会場が出来上がります。手水寄席は落語に加えて、歯やお口の健康について楽しく語る「健口噺」や池田のおもしろい商人が出演する「健口談議」、そして「健

落語会で歯の大切さを楽しく解説

こいし 歯科

栄本町にある同院では、奇数月の第2日曜日に院長の小石剛さんが、手水寄席を開催しています。ご自身も着物に着替えて、予防歯科の重要性や食育など“お口”にまつわる話を、笑いを交えて楽しく説明されています。



口体操」と盛りだくさんのメニューで、毎回多くの方が来場されるそうです。

小石先生も「恋歯家歯つ恋」の高座名をお持ちです。寄席では毎回白衣から和服に着替えて健口噺をされています。この日いただいた名刺も大変楽しいもので「歯医者さんで、おもいつきり笑ったのしんで、今日も健口〇わっ歯っ歯〇」と書かれていました。

小石先生は寄席だけでなく幅広く活動をされています。毎朝5時に起き吉田町に借りている畑で野菜を作り、畑を知らない子どもさんたちのために、食育のお手伝いをされています。また、月1回金曜日の夜8時には駅前のごみ拾いをされており、6年にもなるそうです。ほかに子育て支援の会でもご活動されています。

3月の手水寄席は「いけだ落語バル」(3月9日(日)。4ページ参照)として、正午から午後3時まで1時間おきに開催されます。落語と合わせて先生の健口噺も一度聞いてみませんか。

問い合わせはこいし歯科 (☎0120・834・814)

街角 ほっと

違法駐輪をなくそう！ 阪大生が実証実験で検証

1月20日、大阪大学経済学部の高本嶺さんと同文学部・石塚真美さんが石橋商店街周辺の違法駐輪を減らすため、実験的にさまざまな駐輪禁止のポスターを張り出しました。

これは、同大学の授業の一環で行われたものです。実験は事前に対象個所の違法駐輪をしている自転車数を調べ、効果的と思われる場所にポスターを張り、2週間の違法駐輪数を確認して効果を検証するというものでした。

検証の結果、残念ながらポスターによる違法駐輪の減少という効果は得られませんが、「反省点などを踏まえて、今後の違法駐輪の注意喚起につなげたい」と話していました。

